



「尚徳」 10月号 第516号

平成27年11月4日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明校長



子どもの育ちと学びを支える

校長 住川英明

平成27年度研究発表大会が10月24日（土）、本校を会場として開催されました。200名を超える数多くの教育関係者の方々に参加していただきました。この大会は、本校の教育研究の成果を広く公開することで現在の本校の教育研究のあり方を見直し、ひいては地域の様々な教育課題の解決に資するために、毎年開催されているものです。

児童の皆さんは、数多くの参加者が周囲を取り巻くなかで、いつもどおりの落ち着いた姿を披露することができました。また、私たち教員も分科会などでの協議を通じて、たくさんの新しい知見を得ることができました。当日お世話になった懇話会の皆様には、この紙面を借りて御礼を申し上げます。

会の後半に、鳥取大学地域学部の矢部敏昭先生・小林勝年先生・塩野谷斉先生をお迎えしてシンポジウムを開催しましたが、そのとき話題になっていたのは、育ちと学びの関わり方や今後の学習や評価のあり方などでした。先生方の「教科で学んだ力が子どもの生活力とうまく結びつくためには、子どもと教員とが親身に話すことのできる仲であることが大切だ」というお話や、「これからの学びは、子どもの非認知能力（探究心・好奇心・やる気など）に目配りをして、後のびする力を養う必要がある」というご提言は、私たち教員にとって刺激的で示唆に富むものでした。



鳥取大学は、来年度以降6年間にわたって「附属学校・地域と連携した子どもの発達支援と教師の成長プロセスに関する学際研究・実践プロジェクト」に取り組みます。一人一人の子どもたちの育ちと学びを関連づけて把握しようとするこの研究が、本校の児童を支える良き手立てになればと思います。

【シンポジウムを行いました】

きれいになりました！（尚徳クリーン活動）

10月4日（日）、多くの児童や保護者の方に参加していただき、第2回尚徳クリーン活動を実施しました。

生活安全部の役員の方を中心に、事前の準備や当日の運営をしていただき、室内の窓ガラスや蛍光灯、床の汚れ等の清掃はもちろんのこと、外回りの草の刈り取りや樹木の剪定作業まで行うことができました。

また、前日までに刈り取っていた校庭フェンス周囲の草の袋詰め作業も行っていました。



皆様のご協力のおかげで、研究発表大会では、きれいな校舎に県内外の方々をお迎えすることもできました。本当にありがとうございました。

【フェンス沿いもすっきり！】

11月の主な行事予定

- 3日（火）文化の日
- 4日（水）教育実習開始（～11/17）
- 5日（木）全校一斉造形遊びの日
- 9日（月）校内読書週間（～11/13）
- 10日（火）集金引き落とし日
- 11日（水）6年個人懇談（～11/13）
読書祭り（わくわくおはなしの会）
附属特別支援学校との交流（2年）
- 12日（木）附属幼稚園との交流（1年）
- 17日（火）鳥取市小学校児童代表話合いの会
（6年代表参加）
- 20日（金）人権教育参観日・講演会・学年懇談
弁当の日
- 23日（月）勤労感謝の日
- 24日（火）代表委員会
- 26日（木）懇話会執行部会・常任委員会

学びの姿を県内外に公開 ～附属小学校研究発表大会～

10月24日（土）に附属小学校研究発表大会を開催しました。

研究主題は昨年に引き続き「これからの教科・領域のあり方を問う」とし、特に今年度は思考のつながりに視点を当てた授業のあり方について研究を進めてきました。

全体会で研究の概要について説明しましたが、「百聞は一見にしかず」です。参加者の方々の率直な思いは、児童の学びの様子が実際はどうかということ。少しでも実態を把握しようと、児童のノートを覗き込んだり、質問したりする姿も見られました。



【グループで意見交換 4年】



【私はこちらのよう 1年】

しかし、そんな中でも、自分の思いを素直に表現したり、友達の考えと関連付けて発表したりする姿が見られました。学びに対して常に前向きに取り組む子どもたちに大変感心しました。

逆に、個々の思考をどう教師が把握し、授業に活かしていくかといった課題もいくつか明らかとなりました。次年度に向けて取り組んでいきたいと思います。

最後に、研究発表大会の準備や当日の受付・接待・バス乗車の引率等、ご尽力いただきました懇話会の役員の皆様には、心よりお礼申し上げます。

ふれあい遠足実施（低・中・高学年別）

10月30日（金）に、低・中・高学年別にふれあい遠足を実施しました。低学年は桜の園（布勢公園）、中学年は出合いの森、高学年は青島にそれぞれ出かけました。

出発時には、良い天気、雨が降るという天気予報がはずれたと喜んで出発しました。目的地に到着後は、それぞれ予定していた活動を実施していましたが、お昼前には雨が降り出しました。気温も低かったので、どの学年もその時点で中止とし学校に帰りました。

途中で帰ったのは残念でしたが、短い時間の中でも友達としっかり関わり、活動を楽しむことができました。



【遊具で遊んだよ 低学年】



【ウォークラリー 中学年】



【魚釣りに夢中！ 高学年】

めざせ！家庭での仕事の達人

附属小学校 非常勤講師 谷口幸子

家庭科を5、6年生の子どもたちと学習している谷口です。

先日、5年生の「食」の学習で、野菜の名前当てクイズをしました。10問出題しましたが、なじみのあるよく目にする野菜ばかりでしたので、全問正解者が大勢いるだろうと予想していました。しかし、実際は、9問正解が多かったのです。間違いの多かった残りの1問は、ほとんどの子が、正解が春菊のところを、ほうれん草と答えていました。後で双方を見比べ、外見はよく似ていますが、葉や株の形状や様子の違いに気づきました。

また、6年生の「衣」の学習で、布の素材の違いで汗の吸い取りに違いがあることを、色水で実験してみました。綿素材は、よく水を吸い取るが、乾きはポリエステルが優れていたことが分かり、快適な衣服のあり方について考えました。

一人一人が、家庭のなかで、できる仕事が増え、生活が豊かになるよう日々奮闘しています。

